

(様式第9号)

高槻市立阿武山中学校区運営協議会 会議録

令和7年7月3日作成

会議の名称	令和7年度 高槻市立 阿武山 中学校区 学校運営協議会		
会議の開催日時	令和7年6月9日(月) 18:00~19:20		
会議の開催場所	高槻市立阿武山中学校 図書室	公開の可否	可
担当課	教育指導課 教育総務課	傍聴者数	2人
非公開の理由 (非公開(会議の一部非公開を含む。)の場合)	・会長及び副会長の選出 ・要綱の説明と確認		
出席委員(委員)	長井勘治 松本 大 鈴木啓輔 田中忠一 田淵慎太郎 中平操紀 丸野裕志 三木正二郎		
出席委員(学校)	(阿武山中学校) 丹家 敬 山田伸一 清水琢也 小西才子 (土室小学校) 井澤美穂 松江仁志 藤居正吾 佐々木萌 (阿武山小学校) 浅香一世 羽倉陽三 井上謙吾 伴 孝太		
会議の議題	1. 会長、副会長について 2. 校区経営計画(グランドデザイン)について 3. 今後の予定について		
配付資料	資料1 学校運営協議会委員名簿 資料2 配席図 資料3 高槻市立学校における学校運営協議会に関する規則 資料4 阿武山中学校区学校運営協議会の会議の公開に関する要綱 資料5 阿武山中学校区学校運営協議会傍聴要項 資料6 高槻市地域学校協働活動推進員の委託等に関する要綱 資料7 令和7年度 阿武山中学校区グランドデザイン		
審議等の内容	・会長、副会長の選出 ・学校運営に関する基本的な方針の説明と協議及び承認		

(別紙)

高槻市立阿武山中学校区運営協議会 会議録

1. 開会	<p>委員出席確認 本会議の成立確認 校長 あいさつ 参加者の紹介 資料確認</p>
2. 議題	<p>高槻の学校運営協議会の設置等に関する規則の説明 会長の選出 副会長の選出 「学校運営協議会の会議の公開に関する要綱及び学校運営協議会傍聴要領、高槻市地域学校協働活動推進員の委嘱等に関する要綱」について 資料4、資料5、資料6を学校より説明 委員の確認 傍聴希望者（2名）の確認 会議録担当を委員に任命 校区経営計画（阿武山中学校区グランドデザイン）について 資料7を学校よりグランドデザインの説明、質疑応答、承認</p>
3. 質疑・意見交換	<p>質疑応答等 (委員) 傍聴席に来られるのはどういった方か。 (学校) 学校HPを確認された市民はどなたでも傍聴可能で定員5名。 (委員) 確かな学力の育成について、学校として何が課題でしょうか。 (学校) 学習指導要領に答えがないような課題に対してどう解決に向かう力をつけるのが求められています。課題に対して協力して児童生徒に考えさせる授業や体験させるような学習を進めていきます。タブレットを用いて動画を視聴したり、意見交換を瞬時に行ったりする授業を進めております。子ども一人ひとりが自分の良さや可能性が分かるような授業づくりを進めていきます。 (委員) 答えのない課題を解決する力の育成はどのように進めていくのか。 (学校) 社会に出た時に仕事の好き嫌いを選べないということを中学校</p>

<p>4. 閉会</p>	<p>としては指導している。中学では、掃除当番や給食当番など役割を与えてそれぞれが担っていくように指導を行っています。総合的な学習の時間で探究的な学びができるようにカリキュラムを変更しているところです。</p> <p>(委員) 高校でもグループ作っていけない生徒がありますが、そういった児童生徒をどうやって支えていくのか。</p> <p>(学校) 教室の中で居場所を作れない子どもに異学年との関わりを作る仕組みに取り組んでいる。幼稚園の仕組みを参考にして取り入れて、教職員同士お互いに交流し、園児児童の集団作りについて学んでいます。グループに入れないケースやコミュニケーションが難しい場合は校内支援ルームを活用して対応している。地域の力をかりて推進している。</p> <p>(委員) 家庭学習について、家庭によって差が出きている。うまく家庭が参画できる仕組みを作ってもらいたい。</p> <p>(学校) 家庭教育力の格差を解消するために学習方法の獲得をめざして個人タブレットを活用している。一人ひとりの意見をつぶさに見られる環境を作って子どもたちが相手の意見を見ながら考えるきっかけにしている。ホームスタディ学習は自分で考える設定から、先生たちも提案していくかたちも模索している。</p> <p>(委員) グランドデザインが混在していてわかりにくい。中期的、短期的目標や今年度の教育目標の達成度に興味がある。目標に対する数値目標の評価を明確化してほしい。</p> <p>(学校) これまでも実施しているアンケートをもとに示していきます。</p> <p>(委員) コーディネーターとして協力者の集め方が難しい。</p> <p>(学校) 人を増やす仕組みとして、協力していただいた人を一同に会して互いにつながりを作ってもらった事例がある。校区でチラシを回覧するなど。機会をつくる協力はできる。</p> <p>次回の予定の連絡 学校より閉会における謝辞</p>
--------------	---